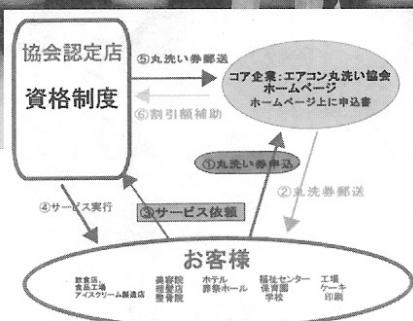


サービスセンサー



●西村直人工アコン丸洗い  
協会会長と、大型空調機の洗  
浄機を紹介したソニック設  
備工業の中屋賢弘氏。



①丸洗い券申込  
②丸洗券郵送  
③協会のメリット  
④サービス実行  
⑤丸洗券郵送  
⑥割引額補助

# "エアコン丸洗いビジネス育成へ、資格制度を"

★エアコン丸洗い協会(ACB)が、14回総会と表彰式、事例発表と新洗浄機紹介★

エアコン丸洗い事業をボランタリーチェーン展開するエアコン丸洗い協会(ACB協会)は、本誌既報の通り、今年で14回目の総会を開いた。2日間にわたり千葉で開いた総会には、全国の加盟店66社の中で、20社が出席した。「原点回帰」を掲げた同協会は、環境課題から、同事業の意義が大きいことから、積極的に対応する施策を打ち出している。新たに、ロゴの統一や、作業制服チョッキ等の企画、また、プロ集団として社会に認知させる目的から、資格制度化を推進する企画を打ち出した。具体的には、「エアコン丸洗い診断士」として、「初級」、「上級」、「師範」を制定、それぞれに、資格申請要件を充たすことを必要としている。例えば、初級では、イメージとして、家庭用エアコンを円滑に洗浄する能力を有すること、家庭用エアコンの構造や原理を理解している。また、ヒートポンプ式エアコンの原理や技術を理解していることで、施工実績として家庭用100台以上、講座修了後の試験を得て合格すると資格を受けることができるなどを想定している。エアコンの丸洗い事業は、様々な業種から、参入しており、一部の家電量販店では、販促施策として、常時、売場で事業化しているが、洗浄技術や洗浄剤等で質的に劣るケースもあり、ACB協会のように、ボランタリーで情報交換、一定レベルの洗浄技術と清浄キット、洗浄剤の提供等、各地で活躍する会員が増え、家庭用から業務用市場にも、事業が拡大していることから、ますます商機が増えるとして、新たに、大型ビル用空調機の熱交換器AHU用洗浄機の試作を、ソニック設備工業から説明されている。エアコンの洗浄により、機器の効率が再生できることから省エネ化と空質面での貢献度が高いとして、丸洗い事業の意義は大きいとして、加盟企業の、業種も多様化している。なお、総会では、成功事例も会員社から発表され、9年間で1万台のエアコン洗浄を達成した電気店から独立して成功した共和電気の小島清社長等の講演、また、優秀加盟企業の表彰等も合わせて行われた。エアコンの洗浄ビジネスは、広義では、数千億円規模となるとされており、メンテやサービス業務上から付帯的なサービスとして明確にされていない事も多いが、年々、市場規模は拡大一途とされている。(編集部)